

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	修学旅行の介助員雇用事業、看護師派遣事業				
担当部署・課長名	教育総務	課	学務	係	課長名 石川 博隆

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	1 - 1	-
【施策名】 学校教育の充実	総合計画書 (ページ)	31	

予算名	款 10 教育費	項 1 教育総務費	目 3 教育指導費	事業 6 修学旅行等事業費
-----	----------	-----------	-----------	---------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 修学旅行等に参加した児童・生徒。	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 修学旅行等に参加した児童・生徒数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 安全かつ安心して修学旅行等に参加してもらう。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 修学旅行等に参加した児童・生徒数
	③ そのために何をしましたか。 ①修学旅行等の実施時に児童・生徒の安全を図るため、介助員を雇用する。 ②修学旅行等の実施時の児童・生徒の健康管理や病気・怪我の応急処置に対応するため、付添看護師業務委託契約を行う。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①介助員(臨時職員)雇用者数 ②看護師派遣日数

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	2,417	2,395	2,446	
	成果指標	②の数値	人	2,417	2,395	2,446	
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方	多くの児童・生徒が安心して修学旅行等に参加できることが本事業の目的である。				
活動指標	③の数値	①人 ②日	①20 ②71	①10 ②71	①15 ②68		

3 経費	事業費(実績)		円	3,508,857	2,956,290	2,393,372	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	3,508,857	2,956,290	2,393,372	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
職員人件費(再任用以外)		円	826,700	825,300	824,400		
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
	事業費+人件費	円	4,335,557	3,781,590	3,217,772		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 看護師派遣事業については、短期間の雇用で対応してもらえる看護師の確保が困難なことから、委託契約による派遣事業を実施している。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 多動傾向の児童生徒など、介助員を必要とする児童生徒が増加傾向となっている。

仕 事 の 内 容	修学旅行の介助員雇用事業、看護師派遣事業				
担当部署・課長名	教育総務	課	学務	係	課長名 石川 博隆

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし。				
	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）				
6 市民協働	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点 特になし。				
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容 短期間（3・4日程度）で雇用できる看護師が確保できれば低コストで業務を実施できるが、これまでの経緯から、そのような雇用形態の看護師を探すことは困難である。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 特になし。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 特になし。				
8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 特になし。				
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 特になし。				
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成果	成果を維持する。		経費	仕事の経費は維持する。	